

副会長 隼田です

本日は公私に大変お忙しい中、大阪代協会員大会にご参加をいただき、誠にありがとうございます。閉会にあたりまして一言ごあいさつ申し上げます。

まずは

財務省 近畿財務局 大藪様

(ご挨拶内容で触れていきます)

記念講演を頂きましたのぞみ総合法律事務所 吉田先生 におかれましては
損保新時代における顧客本位の本質 について詳しく解説頂きました。

顧客の最善の利益の追求は保険業界にとってサービスから、もはや法令で定められた義務だということですね。我々も意識を変え、行動を変えて、保険募集に臨まねば、と強く思いました。本当にありがとうございました。

本日もご参加の保険会社の皆様、本日は大変お忙しいところ、ご参加いただき本当にありがとうございます。

先ほど吉田先生のご講演の中で、お客様から見れば、保険会社も保険代理店も一体であるとのお話がありました。

しかしながら、保険会社と保険代理店の関係を考えると、強い信頼関係で結ばれている一方で、少し、ぎくしゃくした部分もあるように感じられます。

保険会社と保険代理店との間で、「顧客本位」のあるべき姿についての対話や論議が、まだ少し足りていないと感じているのは、私だけでしょうか？

いろいろなことがありましたが、過ぎた過去は今さらどうしようもありません。社会から信頼される魅力ある損害保険業界の実現に向けて、是非とも未来志向で、一緒になって考えていければ、と考えております。

私たちは、保険会社の皆様との、利害を超えた対話・協議、価値観の共有、について必要性を強く感じています。便宜供与問題の影響なのかもしれませんが、保険代理店とやや距離を置かれているようにも感じております。是非とも腹を割った対話の実現について、ご検討をよろしくお願い申し上げます。

さて

本日も集まりの会員の皆様、昨年度は代協活動へのご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。

我々大阪代協は、情報提供にとどまらず、業界の動きを現場にいる個々の会員に問いかけ、声や思いを収集して業界に発信するという新たな価値を創造していきたいと考えています。今年度も、3名の新理事を加え、様々な取組みを展開して参ります。どうぞ一年間よろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、本日は長時間にわたって会員大会に参加して頂き、感謝を申し上げます。議事は全て終了いたしましたので、これにて閉会とさせていただきます。

皆様、本当にありがとうございました。